

テーマ	「次代につなぐ アルプス公園」		
日時	令和3年11月27日(土) 午後3時～5時		
参加者	会場	ZOOM	YouTube視聴
	53名	44名	1,019回(12/3現在)
市民からの意見・提案・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・開発より保守管理の観点で考えてほしい。 ・まきば山荘跡地の再利用には賛成だが、公園入口近くにオートキャンプ場を作るのには反対。 ・西側(北アルプス方向)だけでなく東側(美ヶ原方向)の眺望も素晴らしいので「周遊道路」を作ってほしい。 ・市は一番にコロナ対策、二番に人口減少、三番に少子化くい止め、四番には危機管理にお金を使うべき。 ・松本市は日本一、いや世界一キャンプ場があるなかで新しいキャンプ場を作る必要があるだろうか。 ・自転車道路の整備にお金を使ってほしい。 ・「こどもの広場」に隣接するオートキャンプ場の計画に子供の安全が脅かされる(誘拐など) ・市民のための公園が県外のキャンパーのための公園になってしまう懸念を持っていたが、市長の説明で安心した。 ・キャンプ場の利用は連休、夏休み等の利用期間が集中する。この時期に一番眺望のよいところを市民が使えないというのはいかがなものか。 ・市長の言うキャンプ場の利用がこじつけに聞こえる。市内の他のキャンプ場を利用して思うのは、子供たちが自然を大切にしたいと思う心を教育する仕組みの構築。 ・キャンプは今ブーム、本当にキャンプがしたい人はもっともっと自然豊かなところへ行く。もっと突き詰めて考えてほしい。 ・オートキャンプ場、大賛成。教育の場で積極的に使ってほしい。学校登山が行われなくなり、山に関わる機会が減っている。岳都松本に育つ子供たちには、朝夕の山の美しさ、仲間との一体感をこのキャンプ場で培ってほしい。 ・西側のキャンプ利用はいいと思う。若い人の求める都会風の、サービスの行き届いたキャンプ場にふさわしい。芥子坊主、アルプス公園北側の里山の整備に市民と一緒に市も考えてほしい。 ・市内に多くのキャンプ場はあるが30分でキャンプができるのは、子育てをする上でとても楽しみ。不自由さを体感するキャンプから豊かな時間を楽しむというように変わってきている。 ・行ってみたい全国の無料アクティビティランキングの上位、外国人にも評価高い。危機管理にライブカメラを設置してはどうか。 ・三城キャンプ場のようにニーズに合わなくなる危険性があるのではないかと。サイト30では、拡張性がない。 ・キャンプは防災にも優れた遊びである。震災のボランティアをやって思ったのは、テントを使用したことがない人は使用しない。経験が大事。 ・アルプス公園は草だらけ、ごみが落ちている等々、管理が行き届いていない状態。 ・留学生と交流する中で感じたことは、松本に訪れた人の心の中には、松本の綺麗な景色が印象に残っていて喜んでくれている。市のためでもあるけど、この場所を、多くの人がシェアできるものとして活用してほしい。 		